

## Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 432

2025年2月15日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> mail:info@9jou.jp

憲法改悪をゆるさない全国署名(2/11 現在)

宮城県内9条の会連絡会 : 5,549筆 他団体 : 9,306筆

県民運動推進連絡会みやぎ集約 : 14,888筆

\*署名は県名よりしっかり書きましょう。「〇〇市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしくお願いいたします。

### 宮城県内九条の会連絡会の火曜日街頭宣伝

場所 : 仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。 時間 : 12時から13時まで。 実施日 : 2月25日。3月は4日、11日、25日。

### 2月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制を強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている取り組みです。

- 仙台市 : 2月19日(水) 12:00~13:00 場所 : 仙台市中央通東二番丁平和ビル前
- 石巻市 : 2月19日(水) 15:00~16:00 場所 : 石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町 : 2月19日(水) 13:00~13:30 場所 : 涌谷公民館前交差点
- 小牛田 : 2月19日(水) 13:00~13:30 場所 : 国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市 : 2月19日(水) 11:00~11:30 場所 : クボ店前

- 名取市：2月19日（水） 13:00～13:30 場所：名取駅西口前
- 岩沼市：2月19日（水） 15:30～ 場所：二木の松交差点
- 仙南九条の会：2月19日（水）11:00～11:30 場所：蔵王町役場前

### 3月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キツカりに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- ・ 名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近 ・ 涌谷町：涌谷公民館前交差点
- ・ 宮城野原九条の会：坂下交差点
- ・ 小牛田：国道108号山の神神社前交差点

### 地域の九条の会の定例行動(スタンディング)

- ・ 宮城野原九条の会 23日行動：2月23日（日） 13:00～13:30 坂下交差点
- ・ 鶴ヶ谷地域九条の会：2月19日（水）11:00～12:00 鶴ヶ谷生鮮市場前
- ・ 加茂九条の会：場所は泉区、北環状線と仙台大衡線の交差点、ショッピングセンター「ブランド仙台」前、のぼり旗が目印。

毎週月・水・金曜日の7:30～8:15、水曜日14:00～14:30の週4回“ロシアのウクライナ侵略反対”でスタンディング 水曜日:13:30～14:00 ガザへのイスラエル侵攻反対でスタンディング

毎週木曜日 13:30～14:00「大軍拡・大増税NO！」でスタンディング

## 【県内で行われる活動情報】

### 戦争を語り継ぐ上映会（2月）

#### 「破綻の航跡“暁の宇品”」～陸軍船舶部隊の戦争～

陸軍の船舶部隊、“暁部隊”。広島宇品に置かれ、兵士や物資の海上輸送を一手に担った。その悲劇の運命を新史料と証言でたどり、太平洋戦争破綻の構造を明らかにする。

世界を驚かせた上陸用舟艇を開発して上陸作戦を成功させたが、軍中枢は輸送船の損失を甘く算定した。その結果、多くの兵士・船員が犠牲となり、輸送が途絶えることで戦争の継続は不可能となっていった。(2024年放送)

■同時上映 「屍を越えて オスロの灯～被爆者が紡いだ思い 広島」(2025年放送)

「ノー・モア・ヒバクシャ～NEVER AGEIN NAGASAKI」(同上)

BS朝日のドキュメンタリー番組「テレメンタリー 2025」で1月に放送されたもので、「広島被団協」と「長崎被団協」を発足以降支え続けた人々の活動の記録、そして被爆と反核を語り継ぐ若い人たちの活動を描いています。

日時：②2月19日(水) 10:00～12:00

会場：②泉区加茂市民センター・別棟会議室

主催：戦争を語り継ぐ会 (連絡先：野原 022-378-0872)

#### ◆「出前上映会」のご案内

5人以上の集まりであれば、どこにでも機材(大型テレビ・プレイヤー)を持って伺います。ご希望のテーマ・番組をご相談ください。

#### 宮城革新懇 2024年度第5回憲法問題連続講座(シンポジウム)

##### 「国民のくらしと平和のための政治改革を～市民と立憲野党の共闘を力に～」

昨年10月27日に行われた総選挙で、自民公明の与党は衆議院で少数野党に転落し、改憲勢力は憲法改正の発議に必要な3分の2以上の議席を確保できませんでした。私たちは今、裏金問題に象徴される金権腐敗政治を一掃し、憲法を無視して戦争国家づくりにまい進する自民党政治から脱却する絶好のチャンスを迎えています。

日時：2025年2月16日(日) 14:00～17:00

会場：エルパーク仙台セミナーホール1・2

資料代：500円

第一部：講演と報告

「講演」：「くらしと平和を支える政治のために」

講師：石川康宏さん（神戸女学院大学名誉教授・全国革新懇代表世話人）

「報告1」：市民と野党の共闘「宮城方式」の可能性について

報告者：多々良 哲さん（市民連合@みやぎ事務局長）

「報告2」：要求実現めざして、市民運動は仲間とともに！

報告者：佐々木ゆきえさん（新日本婦人の会宮城県本部会長、宮城革新懇常任世話人）

第2部：講演と報告を受けての座談会

主催：平和・民主・革新の日本をめざす宮城の会（宮城革新懇）

講演：「被ばく・戦後80年」

### 「米軍基地『再編』の裏側で辺野古新弾薬庫『核疑惑』」

沖縄県名護市辺野古の米海兵隊「キャンプ・シュワブ」に、県民の反対の声を無視し、政府による「代執行」で、大浦湾を埋め立てる「米軍辺野古新基地」の建設が強行されています。同時進行であまり報道されていませんが「米軍辺野古基地弾薬庫『再編』で「核疑惑」が浮かび上がっています。

日時：2025年2月24日（月・祝）13:30～

会場：フォレスト仙台第6会議室（2階）

講師：山本眞直（元しんぶん赤旗記者、沖縄在住）

資料代：500円

主催：安保破棄宮城県実行委員会/022-234-1335 宮城県平和委員会/022-263-6650 宮城革新懇/022-227-2291（仙台中央法律事務所気付） 宮城県労連/022-211-7002

2025年国際女性デー第65回宮城県集会講演

### 「声を上げる」～身近な生活の中「はて？」

黙っては何も変わらない。くすぶる思いを声に出してみる。声に出すことで自分が変わる。周りが変わる。講師の久道さんは、大学生の時、憲法違反の安保関連法に反対する学生グループ「SEALDs TOHOKU（自由と民主主義のための学生緊急行動、シールズ）」の

一員として国会前や仙台のアーケードなどで声を上げました。それから9年、弁護士になった久道さんの「はて？」は。

日時：3月8日（土）14：00～16：00

会場：エルパーク仙台 6階ギャラリーホール 仙台市青葉区一番町四丁目11-1（仙台持三越定禅寺通り館）

講師：久道瑛未さん（弁護士）

資料代：500円

オンライン：Zoom ミーティングでも同時配信します。

申込：<https://forms.gle/J2AdoWFrMNjqtCQK8>

から直接お申込みください。2月21日（金）締め切り。

主催：国際女性デー宮城県実行委員会

仙台市青葉区五橋1-5-13 新日本婦人の会宮城県本部気付

電話：022-262-5101 mail:kokusaizyoseimiyagi2020@gmail.com

## 2025 風の会会員のつどい

### 原発の電気は本当に安いのか？～新エネルギー基本計画の欺瞞を撃つ！～

女川原発2号機の再稼働にあたって東北電力は「年間372億円のコスト削減」としていますが、本当に原発の電気は安いのでしょうか？また、昨年12月に原案が公表された経済産業省の「新エネルギー基本計画」では原発について「可能な限り依存度を低減」から「最大限活用」とこれまでの方針を180度転換しようとしています。その中身について徹底批判。

日時：3月9日（日）10：00～

会場：仙台市戦災復興記念館5F 会議室1（仙台市青葉区大町2-12-1）

講師：明日香壽川さん（東北大学 東北アジア研究センター教授）

参加費：無料。風の会会員以外でもお気軽にご参加ください。

オンライン：Zoomでの視聴も可能。前日までにメールにてお申し込みください。

申込：Mail:hag0731@nifty.ne.jp

主催：みやぎ脱原発・風の会

連絡先：090-8819-9920(館脇)

## 吉野作造記念館 2024 年度後期企画展

### 「我が町おおさきの歴史・文化」

開催期間：2025 年 2 月 9 日(日)～3 月 23 日(日)

会場：吉野作造記念館企画展示室

ギャラリートーク：

日時：3 月 8 日(土)14：00～

講師：大平 聡さん(宮城学院女子大学特任教授)

内容：展示の学校日誌その他の資料を通じて戦前の教育現場を訪ねて見よう

開催日時：3 月 22 日(土)14：00

講師：後藤彰信さん(柴田町文化財保護委員)

演題：「東北とはなにか」

長い歴史の中で人々が「東北」にどんな思いを重ねてきたのかを考えてみます

料金：各講座とも入館料(500 円)で受講できます。

入館料：一般 500 円 高校生 300 円 小・中学生 200 円

主催：吉野作造記念館(大崎市古川福沼 I-2-3 0229-23-7100、Fax 0229-23-4979)

## 沖縄をもっと知る学習会 Part 3

### 沖縄を中心に東アジアの平和構築を考える

日本南端の与那国まで琉球弧の島々には自衛隊基地配備が完了し、ミサイル配備や弾薬庫も完備し、いまや自爆ドローンの配備が計画されています。そして、日米合同軍事訓練、自衛隊&米軍の指令系統の一体化が進行しています。それはなぜ？いったん戦争が始まれば終わらせるのは本当に難しい。ではどうする？

日時：3月15日（土） 14：00～16：00

会場：仙台市市民活動サポートセンター地下1階

講師：緒方 修さん(東アジア共同体研究所、元琉球・沖縄センター長)

プログラム：「南西諸島ミサイル危機」上映、沖縄の旅報告、緒方さん講演、ミニ座談会

参加費：500円、学生無料(カンパ歓迎)

主催：琉球弧の軍事化に抗する市民の会・みやぎ

参加申込：

オンライン参加の方のみ事前申し込み必要。会場参加の方は直接会場へ。

Email: ryukyumiya925@gmail.com

### 第12回(2025)いのちの光3・15フクシマ講演会

#### 内部被ばくの治療をライフワークとする医師が語る被爆の健康被害の真実

2011年3月15日、それは、東日本大震災により東京電力福島第一原発が3度目の爆発を起こし、フクシマへと運命を変えた日です。福島第一原発から約25kmの距離にあるカトリック原町教会の祈りと現地の人々の声を聴き、「いのち」の在り方を共に考えます。

日時：3月16日（日） 15：30～17：30(15時開場)

会場：カトリック元寺小路教会大聖堂(宮城県仙台市)

講師：西尾正道さん(北海道がんセンター名誉院長)

参加費：無料・申込不要(カンパをお願いします)

主催：「いのちの光3・15フクシマ」実行委員会

後援：カトリック仙台司教区

問合せ：090-2022-4007(木元)

Mail: inochinohikari315@yahoo.co.jp

### 宮城女性九条の会 第52回憲法講座

#### 「優生保護法と日本国憲法」

～命に優劣はない 優生保護法裁判が問いかけるもの～

“障害者は子どもを生んではいけない”とされたのが旧優性保護法です。不戦をうたう憲法九条につながる数々の人権条項をもつ日本国憲法の下で1948年に制定、1996年まで施行されていた法律です。被害者が勇気をだして弁護士に相談、提訴し、昨年この法は違憲とされ、被害者に償うことになったのです。なぜ、このような法律が現行憲法の下で成立し、施行され、継続されたのかを問います。

日時：3月23日（日） 13：30～15：45

13：30～13：50 バイオリン演奏 山本靖子さん

13：50～15：45 憲法講座

会場：仙台市市民活動サポートセンター6F セミナーホール

（地下鉄南北線広瀬通駅下車西5番出口）

講師：山田いずみさん（弁護士）

参加費：300円

主催：宮城女性九条の会（青葉区上杉2-1-10 仙台YMCA会館内）

連絡先：090-5832-6836

## 【県内九条の会等の活動報告・情報】

### 第51回 2.11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会に450人

第51回 2025年2.11 信教・思想・報道の自由を守る宮城県民集会が国際センター会議棟大ホールで2月11日に開催され、400人（ZOOM視聴と合わせて450人）が参加しました。

苦米地サトウさんの歌声とみやぎの歌声による合唱でオープニング。一橋大学・東京大学名誉教授の油井大三郎さん（鈴木義男の孫）が「東アジア危機を戦争に転化させないために～戦前の教訓を含めて～」と題して記念講演をしました。

油井さんは現在の状況を、ロシアのウクライナ侵略やイスラエルのガザ攻撃など、軍事力で解決を図る潮流が跋扈。また、米





国で第二次トランプ政権、ロシアのプーチン政権、中国の習近平政権など権威主義的な政権や運動の台頭の懸念。世界情勢の不透明感、不安定感が増加する中で日本でも軍拡や抑止論など軍事的手段優先の考え方が台頭している。日本でも石破首相が昨年9月「今のウクライナは明日のアジア」という情勢認識のもと「アジア版 NATO」の結成を訴える論文を発表、防衛費の大幅増加と敵基地攻撃能力の保有を解禁する軍拡路線で憲法9条の形骸化をすすめ、戦後作られてきた「専守防衛」の安保政策を大幅に転換している。

こうした状況に対して、東アジアの情勢がウクライナやパレスチナで発生している軍事紛争を引き起こすのか、「台湾有事が日本の有事」といった主張が正しいのかどうか問われている。歴史は直線的でなく、蛇行を繰り返しながら発展するもので、大きな歴史の流れは明らかに国際機関や国際法に従って紛争の平和的解決を当然とする方向に進展来ているので、短期的な逆流に目を奪われず、大きな世界史的視野から情勢を見ることが大切と指摘した。第一次大戦後の1920年代の国際協調の流れが1930年代の世界各地で侵略が発生し、第二次世界大戦となった時代に転化してしまったのかを振り返ってそこからどのような教訓を引き出すかが重要。軍事力による国益拡大を正当視する「正戦」感に基づく旧「外交」と第一次世界大戦直後の国際協調による紛争の解決をめざす「新外交」のせめぎあいの状況を具体的事例を紹介しながら解説された。

現在の日本は「新たな戦前」状態にあるといわれているがそれを「新たな戦中」としなため努力が大切で、これらの状況の進展に対して「もの申して」再び抵抗する勇気を持たなければならないと強調しました。

講演終了後、講師の油井さんも参加してデモ行進をしました。今年は市役所の工事のために市民広場が使えず、青葉通りから一番町を北上して、定禅寺通りを左折し、狐小路を左折してから元鍛冶町公園で解散しました。